



栢原岳、銀峯山、櫃ヶ岳を「吉野三山」と呼びます。

吉野三山は、古来、吉野と呼ばれた地域、現在の五條市西吉野町から吉野郡下市町にかけての地域にある3つの神奈備山です。神奈備山とは「神が宿る山」という意味で、いずれも山頂に神社があり、吉野地域が古来より山岳信仰の地であったことを今に伝えます。

「栢原岳、銀峯山、櫃ヶ岳」は、「金岳、銀岳、銅岳」とも呼ばれますが、この付近がかつて黄鉄鉱や銅の鉱山であったことにより、古くから大峰山脈の前衛峰として知られています。



栢原岳

【とちほらだけ】



山頂からの景色

標高531m、古来より黄金岳、岳山とも呼ばれ三山の中では最も西となる下市町に位置し、隣接する大淀町や五條市の街並、大阪府との県境を走る金剛山、葛城山、二上山などのすばらしい山並を見渡すことができます。山頂には天平2年11月11日に創建されたと伝えられる式内古社「波比賣神社」が鎮座しています。

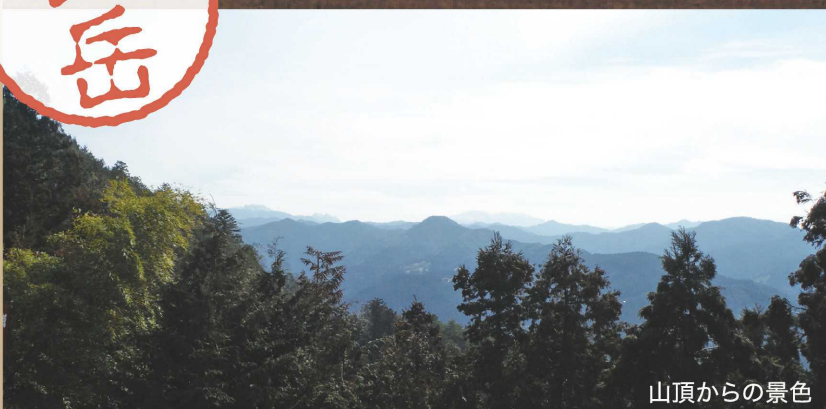
波比賣神社

水の神、雨の神である「弥都波能売神」が祭神として祀られています。明治初年まで神仏習合により金山寺が存在していましたが、その後の廃仏毀釈によって、梵鐘・仏像・仏具などは近くの寺に移転され、社務所内の須弥壇がその名残を留めています。



銀峯山

【ぎんぼうざん】



山頂からの景色

標高614mの山で五條市西吉野町夜中に位置し、三山の中で最も西にあり山頂には「波宝神社」があります。この山は底面が正方形となる方錐形で、この地方の山岳信仰における中心として周辺の神社はすべてこの山に向いて鎮座しているといわれています。神社本殿は県指定文化財であり、五條、吉野の山々が展望できます。また付近には銅の鉱脈が走り、神社の下には採掘跡もあるといわれています。

波宝神社

祭神は住吉大神と神功皇后（息長帯日売命）とされています。天安2年（858）に書かれた記録『日本文徳天皇実録』にその名が登場しており、古くから山麓古田郷の村々の氏神として崇拝されてきました。また、境内には明治初年まで、銀峯山神宮寺が存在していました。



櫃ヶ岳

【ひつがだけ】



山頂からの景色

大淀町方面から見ると唐櫃の形に似ていることから付いた名で標高は781m、五條市と下市町境を走る三山の最南に位置します。初心者でも登山しやすいことから訪れる人も増え、山頂には櫃ヶ岳八幡神社（櫃ヶ岳大明神）があり稲村ヶ岳や弥山・八経ヶ岳の展望も楽しめます。また付近には樹齢300年を越える杉「吉銅魔王権現」、石がご神体となる龍王神社などもあり、澄んだ空気と厳かな雰囲気がか山頂一帯を包みます。

櫃ヶ岳八幡神社

別名「櫃ヶ岳大明神」とも言われる櫃ヶ岳八幡神社は、応神天皇（磐田別命）を祭神とします。明治初年までは神宮寺の「雲仙寺」があり、神仏混交の聖地として多くの信仰を集めていました。雲仙寺にあった梵鐘は現在、「玉泉寺」に残っています。



伝統文化「岳まつり」

毎年9月
第2日曜日
開催



銀峯山にある波宝神社で行われるお祭りで、朝からの式典後、神様との食事会となる直会が行われ、「岳祭り」の一大イベントである渡御（お渡り）と続きます。昔は御神体を乗せた神輿も出ていましたが、担ぎ手が少なくなり展示のみとなりました。しかし2017年、地域に住む若者60名が担ぎ手として名乗りを上げ30年ぶりに復活、今まで以上に活気のあるお祭りとなりました。

渡御（お渡り）とは

渡御は波宝神社を鉄杖やのぼり、ほこ等を持って出発する行列が、同じく銀峯山の八王子神社から出発する行列と途中の鳥居で合流し「お旅所」までを練り歩くものです。



お旅所へは、金棒・高張提灯・猿田彦・金幣・神官・当屋の地区の区長・弓矢鉾・盾・のぼり・槍・太鼓・神鷹箱・吹き流し（吹き流し）という順番の行列でお渡りします。



梅林

奈良県三大梅林

西吉野町には「奈良の梅どころ」といえる賀名生梅林があります。同じく奈良県にある月ヶ瀬、広穂に並び奈良県三大梅林のひとつで、毎年2月下旬～3月中旬には約2万本もの梅の花が咲き誇り、丘陵を薄紅色で優しく埋めつくします。その美しさは約700年前の南北朝時代に都を追われた公家たちも歌に詠むほど。そんな場所で行われる本格的な梅加工品もぜひご賞味ください。



▲原野湖の枝垂れ梅



広大な敷地に咲き誇る
圧倒的な美しさ

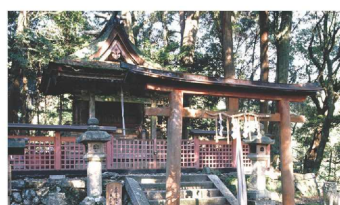
史跡・文化財



▲賀名生皇居跡



▲西田家住宅



▲春日神社



▲賀名生の里

足利尊氏に京の都を追われ吉野へ向かう後醍醐天皇を厚くもてなした「堀孫太郎信重」の邸宅はその後、建物の内部に黒い板壁が多いのが特徴です。国重要文化財。

入り母屋造り、茅葺き屋根で、正面11.5メートル、側面8.3メートル。17世紀前半の建築と伝えられ、建物の内部に黒い板壁が多いのが特徴です。国重要文化財。

春日造りの檜皮葺の、こじんまりとした神社ですが、格調高く国の重要文化財に指定されています。細部には、室町時代末期の華麗な細工が施されています。

西吉野町のくらし、観光や歴史散策など様々な情報を提供しています。

五條の柿は日本一

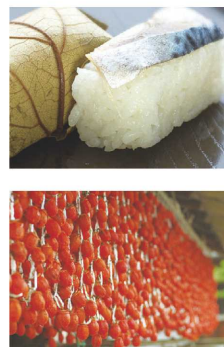
柿の生産量日本一を誇る奈良県五條市。その栽培の歴史は大正末期に遡ります。この頃畑地への植え付けが開始され、同時に耕地を果樹畑へと転換し開墾も進められました。昭和30年代には樹園地の造成が盛んになり、昭和49年からは全国一の柿生産地を目指すべく、五條市西吉野地区園芸総合農地開発事業を開始。約500ヘクタールもの広大な樹園地が整備され、また、渋柿の優良品種（刀根早生）も同時に誕生したことから、柿の生産量は増加し、五條市は日本一の柿のまちになりました。

現在西吉野町で生産される柿



柿を使った名産品

- 柿の葉茶
- 柿の葉餅
- 柿の葉ジュース
- 柿の葉ジュース
- 柿の葉茶



柿堪能スポット

店舗名	住所	電話番号(市外局番0747)
01 お土産 柳澤果樹園(柿ドライフルーツ)	五條市西吉野町道場210	☎ 32-0600
02 お土産 堀内果実園(あんぽ柿・ドライフルーツ)	五條市西吉野町平沼1393	☎ 20-8013
03 お土産 柿の専門店いい(石井物産)	五條市西吉野町八ッ川458	☎ 34-0518
04 柿狩り 湯川観光協会	五條市西吉野町湯川	☎ 34-0744
05 柿販売 JAならけん西吉野柿選果場	五條市西吉野町奥谷1955	☎ 34-0105または0120-244-401
06 柿販売 有限会社 西吉野産直組合	五條市西吉野町奥谷353-1	☎ 34-0858

宿泊

店舗名	住所	電話番号(市外局番0747)
柏荘	五條市西吉野町黒淵1323	☎ 32-0019
福寿荘	五條市西吉野町城戸398	☎ 33-0652
西吉野温泉屋(※日帰り入浴可)	五條市西吉野町永谷380	☎ 20-8038
五條市移住体験型住宅	施設は西吉野町平沼54番地	【詳細・申込は五條市役所 まちづくり推進課まで ☎ 22-4001 内線415】

グルメ・お食事

店舗名	住所	電話番号(市外局番0747)
01 豆腐・油・アゲ上庄豆腐店	五條市西吉野町和田415-15	☎ 32-0393
02 湯葉 ゆば平橋	五條市西吉野町向加名生89	☎ 32-0551
03 フルーツ 川崎さんちのもぎたてフルーツ 川崎ぶどう園	五條市西吉野町百谷281-2	☎ 34-0623
04 柿の葉ずし(お食事) 創今柿の葉心ずし	五條市西吉野町百谷1689-1	☎ 34-0324または0120-556-563
05 お食事 Café これび	五條市西吉野町道場210	☎ 32-0600
06 お食事 農悠舎王陽堂旬の野菜レストラン	五條市西吉野町道場154	☎ 32-0073

その他お役立ち情報

施設名	住所	電話番号(市外局番0747)
JR五条駅前観光案内所	五條市須道3-70	☎ 20-9005
五條市観光交流センター	五條市野原1-9-20	☎ 22-0840
五條市役所	五條市本町1-1-1	☎ 22-4001
五條市役所(大塔支所)	五條市大塔町辻堂41	☎ 36-0311
賀名生の里歴史民俗資料館	五條市西吉野町賀名生5	☎ 32-9010

店舗名	住所	電話番号(市外局番0747)
07 お食事 お食事処賀名生	五條市西吉野町和田51-2	☎ 32-0182
08 お食事 喫茶 タイム(定休・木曜日)	五條市西吉野町城戸118	☎ 33-0553
09 お食事 Moto DINER(モトダイナー)	五條市西吉野町黒淵646-1	☎ 090-3848-0646
特産品 ごんぱら館	五條市西吉野町西野292	☎ 33-0251
特産品 道の駅 吉野路大塔	五條市大塔町阪本249	☎ 35-0321

施設名	住所	電話番号(市外局番0747)
五條消防署	五條市今井4-3-23	☎ 22-3310
五條警察署	五條市今井4-4-50	☎ 23-0110
五條バスセンター(五條旅行センター)	五條市今井2-127-1	☎ 23-1951
野原タクシー	五條市野原6丁目3-13	☎ 23-2233
五條二見交通株式会社	五條市住川1163-2	☎ 23-1212または0120-65-5551



地図に関するお問い合わせは
五條市役所(西吉野支所)
TEL 0747-33-0301(代表)

(順不同)